

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	頌栄短期大学
設置者名	学校法人頌栄保育学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	保育科	夜・通信			7	7	7	
	専攻科	夜・通信			8	8	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ <a href="http://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/coursesubject.pdf">http://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/coursesubject.pdf</a> 授業計画・授業内容(シラバス学生配布)
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	頌栄短期大学
設置者名	学校法人頌栄保育学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/directors.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	前 株式会社顧問	2021. 3. 23 ～2024. 3. 22	財務担当
非常勤	大学名誉教授	2021. 3. 23 ～2024. 3. 22	教学担当
(備考) 学外者である理事は、8名を配置している。内4名に担当する職務内容や期待する役割を定めている。			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	頌栄短期大学
設置者名	学校法人頌栄保育学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスの作成方法を記載した「授業計画・授業内容(シラバス)作成について」を前年の12月頃に全教員に配布し、作成の依頼をしている。シラバスの原稿については、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法・基準やその他の事項が作成方法に則って記載されているかを必ず第三者が確認をしている。第三者のチェック後製本し、新年度に(4月当初)在学生及び教職員に配布し、ホームページ上でも公表している。</li> <li>・成績評価基準や、単位の修得の条件については、学生便覧に掲載しており、在校生及び教職員には配布し、ホームページ上でも公表している。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	シラバス(学生配布)・ホームページ <a href="http://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/syllabus.pdf">http://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/syllabus.pdf</a>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

・本学では、教育上の効果を測定するために、①～⑤の方法を学生の成績評価方法としている。

- ①平常試験（授業時の小テスト、ミニレポートを含む）、②定期試験、③レポートなど、
- ④実技による評価、⑤作品による評価。

評価については、単一の評価方法だけを採用するのではなく、複数の方法で評価する機会が多いが、その場合には科目ごとに DP を基とした到達目標を具体的に定めたうえで、評価方法、評価割合、評価基準等シラバスに明示している。

評価区分	実得点 (100点法)	評価基準	単位認定
S(秀)	100～90	基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている	認定
A(優)	89～80	基本的な目標を十分に達成し、優秀な成績をおさめている	
B(良)	79～70	基本的な目標を十分に達成している	
C(可)	69～60	基本的な目標を達成している	
P(認定)		本学以外で修得した科目で、本学で修得したものと認めるもの	
D(不可)	59～0	基本的な目標を達成していないので再履修が必要である	不認定

・学生は、成績通知書に記載された成績評価に関する質問や異議申し立てをすることができる。質問・異議申し立てをする場合、学生は定められた期間内に、教務課にある「成績に関する照会票」に記入をし、その後、事務室が学生に代わって授業担当者に問い合わせを行い、学生に回答する。授業担当者は学生の質問・異議申し立てに真摯に対応することが求められる。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

<保育科>

①算出方法

学生の履修科目の成績評価を次の通り数値(グレード・ポイント)に変換する。なお、不合格となった科目、放棄した科目は、全てグレード・ポイントが0点となる。

<成績評価基準とグレード・ポイント>

評価区分	GP	対応する得点	単位認定
S(秀)	4	100~90点	合格
A(優)	3	89~80点	
B(良)	2	79~70点	
C(可)	1	69~60点	
P(認定)	なし	—	認定
D(不可)	0	59~0点	不合格

②GPAの対象となる授業科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がGPAの対象となる。

適用除外科目

1. 編入学、再入学した際の単位認定科目
2. 本学入学前に修得した単位認定科目

③GPAの算出式

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{(当該学期に評価を受けた各授業科目で得た GP} \times \text{当該授業科目の単位数) の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた各課授業科目の単位数の合計}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{(当該学期に評価を受けた各授業科目で得た GP} \times \text{当該授業科目の単位数) の合計) の総和}}{\text{(各学期に評価を受けた各課授業科目の単位数の合計) の合計}}$$

\*GPA の表示は有効数字 2 桁 (小数点以下は第 1 位まで)

④再履修した科目の成績評価

合格した当該科目のみ GPA に算入し、過去不合格だった当該科目の成績は算出の対象としない(ただし、履歴からは消さない)。

<専攻科>

学業成績は、授業科目ごとに行う試験で評価される。各授業の評価を 100 点満点基準として、60 点以上を合格としている。評価基準は、100~90 点を S、89~80 点を A、79~70 点を B、69~60 点を C とし、59 点以下を D として成績を通知している。

成績評価方法については、学生便覧、シラバス等に記載をしているほか、学生には入学時のオリエンテーションでも説明をしている。

今年度以降は、成績分布状況を明確に把握するため、全科目の合計点数を科目数で除し、平均点を算出している。この平均点の比較により成績状況を把握している。この分布については、HP にもアップし、各学生にも配布する予定である。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

学生便覧(学生配布)P110~111

ホームページ・

<https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/gakuseibinran.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・保育科の卒業認定の方針は以下のとおりです。

頌栄短期大学は、建学の精神を土台として、キリスト教精神に基づいた人間性と幅広い知識・技術を身につけた保育者を養成し、かつ多様化・高度化する社会に奉仕できる人財を育成します。

所定の単位を修得し、以下の力を身につけた者に「短期大学士（保育学）」の学位を授与します。

- 1.子どもに対する愛情を有し、人間性と社会性を支える倫理観と教養を身につけている
- 2.子どもの成長・発達について理解し、保育の専門的知識および技術をもって子どもの最善の利益の実現に向けて行動することができる
- 3.他者の意見を聴き、自らの考えを的確に伝えるコミュニケーション能力を有している
- 4.現代保育・教育における諸課題に関心を向けて取り組む姿勢をもち続け、生涯にわたって保育の発展に貢献することができる

・卒業要件は、学則に定める授業科目の中から基礎教養科目 13 単位以上、専門教育科目 49 単位以上、合計 62 単位以上を修得することとなっています。

・卒業判定については、『頌栄短期大学保育科 卒業認定規程』に則り判定します。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページ

<https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/graduationpolicy.pdf>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	頌栄短期大学
設置者名	学校法人頌栄保育学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/zaimujokyo.pdf">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/zaimujokyo.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/zaimujokyo.pdf">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/zaimujokyo.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/zaimujokyo.pdf">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/zaimujokyo.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/jigyohokoku.pdf">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/jigyohokoku.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/zaimujokyo.pdf">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/zaimujokyo.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ <a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/assessment/">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/assessment/</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 頌栄短期大学
教育研究上の目的 公表方法：学生便覧 p. 17 ホームページ： <a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/hoikuka.pdf">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/hoikuka.pdf</a>
(概要) ・本学は、教育基本法にのっとり、学校教育法の定める短期大学として、キリスト教精神を土台とし、広く学術を研究教授するとともに高度な専門性を有する人間性豊かな保育者を養成し、かつ社会の発展に貢献できる社会人を育成することを目的とする。 ・保育科の教育研究上の目的は、保育者に必要な価値観、知識、技術を身につけ、変化する社会情勢に対応できる豊かな人間理解の態度と能力を兼ね備えた人材の養成をめざすものとする。
卒業の認定に関する方針 公表方法：ホームページ： <a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/graduationpolicy.pdf">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/graduationpolicy.pdf</a>
(概要) 頌栄短期大学は、建学の精神を土台として、キリスト教精神に基づいた人間性と幅広い知識・技術を身につけた保育者を養成し、かつ多様化・高度化する社会に奉仕できる人材を育成します。 所定の単位を修得し、以下の力を身につけた者に「短期大学士（保育学）」の学位を授与します。  1.子どもに対する愛情を有し、人間性と社会性を支える倫理観と教養を身につけている 2.子どもの成長・発達について理解し、保育の専門的知識および技術をもって子どもの最善の利益の実現に向けて行動することができる 3.他者の意見を聴き、自らの考えを的確に伝えるコミュニケーション能力を有している 4.現代保育・教育における諸課題に関心を向けて取り組む姿勢をもち続け、生涯にわたって保育の発展に貢献することができる



教育課程の編成及び実施に関する方針

公表方法：学生便覧 p. 30～31

ホームページ：<http://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/about/policy/>

(概要)

<保育科>

1. 教育課程の編成

本学の教育目標を達成するため、下記のような教育課程を編成しています。

(1) 基礎教養科目

- 1) 豊かな人間性や社会性を育むキリスト教関連科目を基底とした教養科目
- 2) 学習・研究のための言語・情報系科目
- 3) 健康な身体作りと健康に関する基礎的知識を深める科目

(2) 専門科目

- 1) 保育の本質・目的に関する科目
- 2) 保育の対象となる子どもと家庭への理解を深める科目
- 3) 保育に関する知識・技能を習得する科目
- 4) 保育の現場で学ぶことができる科目
- 5) 現代保育・教育における諸課題を探究する科目

2. 授業形態とその特色

主な授業形態である①講義、②演習、③実習、④実技をとおり、保育者としての教養と専門性を身につけます。

1年次は「基礎演習」「頌栄学」など、主体的・協働的な探究活動が中心の科目において、保育に必要な、社会性、コミュニケーション能力、子ども理解力を養います。2年次は「基礎演習」で培った「聞く」「調べる」「読む」「書く」力を活かし、ゼミ形式による「現代保育・教育問題演習」を核として理論と実践を結合し、子どもの最善の利益を生み出すための能動的な学びと実践を遂行する力を培います。

実習では、保育現場における学習に取り組むことで、専門性を高めます。さらに、系列園と連携した観察実習や保育者を交えた討議などに取り組むなかで、実践力の向上を目指します。

3. 教育課程の評価

教育評価は、PDCA サイクルの一環として位置づけています。保育者として必要な専門性と学生の発達を十分に勘案し、学習到達目標や成績評価基準を設定し、点検・評価の結果を次年度以降の教育課程の改善、見直しに活かしています。

<専攻科>

1. 教育課程の編成

本専攻科は、2015年度より、大学改革支援・学位授与機構から「特例適用専攻科」の認定を受けており、保育科での2年の学びを基盤として、継続した4年間の学修を達成するため、下記のような教育課程を編成しています。

(1) 理論系科目

- 1) 豊かな人間性や社会性を育むキリスト教関連科目
- 2) 教育・保育・福祉の歴史的変遷や理論に関する科目
- 3) 子どもの心理に関する科目

(2) 実践系科目

- 1) 教育・保育の本質・目的に関する科目
- 2) 教育・保育の対象への理解に関する科目
- 3) 保育内容の指導・方法に関する科目
- 4) 保育の技術や技能に関する科目
- 5) 保育の実践に関する科目

2. 授業形態とその特色

主な授業形態である①講義、②演習をとおり、実践力をさらに磨き、保育について学問的かつ専門的に学びを深めます。

「保育実践学習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」では、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を活かして、保育現場での実践を行い、記録をもとに討議を行います。さらに夏季休暇中にインターンシップを経験し、保育の専門性を高めます。

修了研究に繋がる学修としては1年次に保育研究演習、2年次に修了研究を担当教員が個別に指導し、研究発表会では全教員参加のもとで集団的な指導をしています。

3. 教育課程の評価

教育評価は、PDCA サイクルの一環として位置づけています。保育者として必要な専門性と学生の発達を十分に勘案し、学習到達目標や成績評価基準を設定し、点検・評価の結果を次年度以降の教育課程の改善、見直しに活かしています。

入学者の受入れに関する方針  
 公表方法：学生便覧 p. 32  
 ホームページ：<https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/about/policy/>

(概要)

<保育科>

頌栄短期大学の建学の精神と教育目標を理解し、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、保育科では次のような人物を求めます。

1. 子どもを愛し、大切に守り育てていこうとする人
2. キリスト教精神に基づき社会に貢献する意欲をもち、保育者になるという強い意思と情熱をもっている人
3. 高等学校等で養った基礎学力を有し、保育の知識と技能を身につける努力を惜しまない人
4. 人とのつながりを重んじ、他者との相互理解に努めようとする人

<専攻科>

頌栄短期大学の建学の精神と教育目標を理解し、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、専攻科では次のような人物を求めます。

1. 子どもを愛し、大切に守り育てていこうとする人
2. 保育の基礎力を土台に、より高次の保育実践力を身につけるため、熱意をもって学び研究しようとする人
3. コミュニケーション能力と協調性に富み、相互理解を深めることのできる人
4. 現代保育・教育における諸課題を発見し、多面的かつ論理的に考察しようとする人

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ  
<https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/publicinfo/pdf/soshiki.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
保育科	—	3人	2人	6人	1人	人	12人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		45人					45人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページ <a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/about/staff/#h3-001">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/about/staff/#h3-001</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教育の質の向上を図る視点で、学修成果を可視化し、育てたい学生像に近づけることが可能なカリキュラムを構築することを目的として、FD活動を展開している。PDCAサイクルを具体的にどのように運用するかについて共通理解を持ち、また、保育内容系を中心に科目間の連携を密にするための協議と、学生へのアプローチに関する計画立案を試みるなど、FD研修を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育科	125人	98人	78.4%	275人	213人	77.5%	0人	0人
専攻科	20人	8人	40.0%	40人	12人	30.0%	0人	0人
合計	145人	106人	73.1%	315人	225人	71.4%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育科	90人 (100%)	7人 (7.8%)	82人 (91.1%)	1人 (1.1%)
専攻科	6人 (100%)	0人 (0%)	5人 (83.3%)	1人 (16.7%)
合計	96人 (100%)	7人 (7.3%)	87人 (90.6%)	2人 (2.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
保育科	92人 (100%)	90人 ( 97.8%)	1人 ( 1.1%)	1人 ( 1.1%)	0人 ( 0%)
専攻科	6人 (100%)	6人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
合計	98人 (100%)	96人 ( 98%)	1人 ( 1.0%)	1人 ( 1.0%)	0人 ( 0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画・授業内容（シラバス）を作成し、シラバスに記載された授業計画に沿って授業を行っています。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 卒業（保育科）及び修了（専攻科）の認定の要件については、以下の通り学則に定められています。 保育科の卒業要件は、学則に定め授業科目の中から基礎教養科目 13 単位以上、専門教育科目 49 単位以上、合計 62 単位以上を修得することとなっています。卒業判定については、『頌栄短期大学保育科 卒業認定規程』に則り判定します。 専攻科の修了要件は、2 年以上在学し、学則に定め授業科目の中から 62 単位以上を修得することとなっています。修了判定については、『頌栄短期大学専攻科 修了認定規程』に則り判定します。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育科	62 単位	Ⓐ・無	単位
	専攻科	62 単位	Ⓑ	40 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：学習意欲の向上や、履修指導、就学指導、進路指導、学長表彰に活用しています。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ <a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/campuslife/map/">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/campuslife/map/</a>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育科	780,000 円	350,000 円	290,000 円	教育充実費、実験実習費、 学外実習費
	専攻科	560,000 円	100,000 円	220,000 円	教育充実費、実験実習費
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 1. 入学時のガイダンスとして、4日間のオリエンテーションを通じて、教務ガイダンス、学生生活ガイダンスを実施している。 2. 専任教員による面談を学期ごとに実施している。 3. 専任教員はオフィスアワーを設け、公開している。 4. 学生の勉学を奨励する目的で「学長賞」を設け、学年末に授与している。 5. GPA 制度を導入し、厳格な単位認定に努めている。成績不良の学生に対しては、個別面談等を行い、成績の改善及び退学を予防している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路支援室は、学生の保育職就業力育成、保育職を中心とした就職相談、斡旋と共に進学希望者の進学支援を行っている。進路資料室では求人情報を掲示し、受験報告書や過去の求人状況、就職関係書籍等の資料の閲覧、パソコンによる就職情報検索の環境を整えている。進路ガイダンスでは「就職の手引き」を活用し、授業や実習等とキャリア形成の有機的な繋がりを基本に、社会人、保育者としての常識やマナーの指導、模擬試験、面接や履歴書の指導を細やかにを行い、進路選択を支援している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 1. 年度初めに健康診断を実施している。 2. 休養室及び学生相談室の設置し、それぞれの担当者による情報共有の為の会議を開催している。 3. オフィスアワー等の利用により、学生はいつでも専任教員と相談できる体制を構築している。 4. 担当の教職員間では、個人情報に配慮しながらも学生の安全と利益を優先し、可能な範囲で情報を共有・協働することで、学生の心身の健康等に係る支援の充実を図っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ <a href="https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/bulletin/">https://www.glory-shoei.ac.jp/tandai/bulletin/</a>
---

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F228310109051
学校名	頌栄短期大学
設置者名	学校法人頌栄保育学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		11人	12人	43人
内 訳	第Ⅰ区分	11人	12人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				43人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。